



平成24年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成23年7月29日

上場取引所 東

上場会社名 東芝テック株式会社

コード番号 6588 URL <http://www.toshibatec.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 鈴木 護

問合せ先責任者 (役職名) 総務部業務・広報室長

(氏名) 村川 雅彦

TEL 03-6422-7009

四半期報告書提出予定日 平成23年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	83,076	5.6	2,011	41.7	1,548	20.2	969	60.2
23年3月期第1四半期	88,033	1.4	3,451	115.7	1,941	127.6	2,438	312.5

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 548百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 2,032百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	3.53	3.53
23年3月期第1四半期	8.86	8.85

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	284,088	138,587	45.2
23年3月期	288,592	140,518	45.0

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 128,439百万円 23年3月期 129,798百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	2.00	—	5.00	7.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	3.00	—	4.00	7.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	180,000	2.6	6,000	23.1	5,400	2.1	2,500	33.6	9.11
通期	375,000	3.5	15,000	7.2	13,500	27.3	7,000	7.5	25.53

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	288,145,704 株	23年3月期	288,145,704 株
期末自己株式数	24年3月期1Q	13,830,089 株	23年3月期	13,988,065 株
期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	274,164,417 株	23年3月期1Q	275,033,829 株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○ 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

平成24年3月期第1四半期連結累計期間の世界経済は、原材料価格の高騰や東日本大震災によるサプライチェーンの寸断などから、米国及び欧州では景気は低迷し、アジアでは景気拡大テンポが鈍化した。一方、日本経済は、東日本大震災の影響により経済活動が停滞し、個人消費や生産が落ち込むなど、景気は厳しい状況が続きました。

このような状況下におきまして、当社グループは「グループ総合力の発揮」により、トータルソリューションの提供、環境対応商品や融合商品等の差異化商品の開発・投入、新興国や今後成長の見込まれる領域への傾注による事業規模の拡大に努めるとともに、リソースや資産の一層の効率化による収益力の向上に、鋭意努めてまいりました。

また、海外事業の更なる効率化及び一層の拡大を目指し、平成23年4月1日よりドキュメントソリューション事業と海外POS&AIプリンタ事業を統合し、新たにグローバルソリューション事業といたしました。これにより、国内事業を担当するシステムソリューション事業、海外事業を担当するグローバルソリューション事業を中心とするマーケット別の事業運営体制の下で、社業の尚一層の発展に努めてまいりました。

連結業績につきましては、為替や東日本大震災などから、売上高は前年同期比6%減の830億76百万円、営業利益は前年同期比42%減の20億11百万円、経常利益は前年同期比20%減の15億48百万円、四半期純利益は前年同期比60%減の9億69百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間の報告セグメントの状況は、次のとおりであります。

システムソリューション事業

国内市場向けPOSシステム、複合機、オートIDシステム及びその関連商品等を取り扱っているシステムソリューション事業は、東日本大震災により東北地方を中心に当社の顧客やマーケットが甚大な被害を受けるとともに、部品調達及び生産にも震災影響が及ぶ厳しい事業環境の中で、マーケットニーズにマッチした新商品の開発、主力・注力商品の拡販、エリア・マーケティングの推進、国内販売・サービス体制の効率化等による収益体質強化等に鋭意注力いたしました。

ストア・オートメーション及びファクトリー・オートメーション市場向けにビジネスを展開しているリテール事業では、国際チャート(株)を子会社化したことによる売上増加はありましたが、震災影響が流通小売業・製造業の設備投資時期の先送りや部品調達及び生産に波及したことなどから、売上は減少いたしました。

オフィス・オートメーション市場向けにビジネスを展開しているオフィス事業では、震災影響もあって複合機が伸び悩んだことなどから、売上は減少いたしました。

この結果、システムソリューション事業の売上高は、前年同期比4%減の375億25百万円となりました。また、同事業の営業利益は、前年同期比70%減の4億31百万円となりました。

グローバルソリューション事業

海外市場向け複合機、POSシステム、オートIDシステム、プリンタ及びその関連商品並びにインクジェットヘッド等を取り扱っているグローバルソリューション事業は、円高や競合他社との価格競争激化が続く厳しい事業環境の中で、戦略的新商品の投入・拡販、新規事業領域・販路・顧客の開拓及びアライアンス戦略の推進による拡販等に鋭意注力いたしました。

米州市場では、POSシステム及びオートIDシステムが伸長し、複合機も堅調に推移しましたが、為替の影響により、売上は減少いたしました。

欧州市場では、POSシステム及びオートIDシステムが減少しましたが、複合機が伸長したことから、売上は前年同期並みとなりました。

中国・東アジア市場では、複合機、POSシステム及びオートIDシステムがともに伸長したことから、売上は増加いたしました。

新興国市場では、複合機は堅調に推移しましたが、為替の影響もあって、売上は減少いたしました。

ODM事業は、POSシステム及びプリンタが伸び悩んだことから、売上は減少いたしました。

インクジェットヘッド事業は、海外顧客への販売拡大により、売上は増加いたしました。

この結果、グローバルソリューション事業の売上高は、前年同期比6%減の487億61百万円となりました。また、同事業の営業利益は、前年同期比21%減の15億80百万円となりました。

(注) オートIDシステムとは、ハード・ソフトを含む機器により、自動的にバーコード、ICタグなどのデータを取り込み、内容を識別・管理するシステムをいいます。
ODMとは、顧客ブランド製品の設計・製造を行うことをいいます。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ45億4百万円減少し2,840億88百万円となりました。これは、「現金及び預金」及び「グループ預け金」が合わせて39億18百万円減少したことなどによります。

負債は、前連結会計年度末に比べ25億73百万円減少し1,455億円となりました。これは、「未払法人税等」が20億80百万円減少したことなどによります。

純資産は、19億30百万円減少し、1,385億87百万円となりました。これは、「四半期純利益」が9億69百万円増加しましたが、配当金の支払いで13億70百万円及び円高の影響により「為替換算調整勘定」で10億5百万円減少したことなどによります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年4月28日の平成23年3月期決算発表時の予想を変更しておりません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当第1四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結累計期間を含む当連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等に含めております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,407	20,792
グループ預け金	74,520	68,217
受取手形及び売掛金	54,527	48,460
商品及び製品	25,047	29,054
仕掛品	2,910	4,093
原材料及び貯蔵品	6,319	7,220
その他	20,216	21,015
貸倒引当金	1,329	1,279
流動資産合計	200,619	197,574
固定資産		
有形固定資産	29,527	28,887
無形固定資産		
のれん	19,405	18,765
その他	5,594	5,413
無形固定資産合計	24,999	24,179
投資その他の資産		
その他	33,506	33,507
貸倒引当金	61	61
投資その他の資産合計	33,445	33,445
固定資産合計	87,972	86,513
資産合計	288,592	284,088

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	43,002	43,266
短期借入金	10,868	9,177
未払法人税等	3,392	1,312
その他	51,391	51,597
流動負債合計	108,654	105,355
固定負債		
長期借入金	1	1
退職給付引当金	34,303	34,820
その他	5,114	5,322
固定負債合計	39,419	40,145
負債合計	148,073	145,500
純資産の部		
株主資本		
資本金	39,970	39,970
資本剰余金	52,987	52,985
利益剰余金	56,012	55,691
自己株式	5,691	5,626
株主資本合計	143,280	143,022
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	224	195
繰延ヘッジ損益	11	-
為替換算調整勘定	13,693	14,699
最小年金負債調整額	-	78
その他の包括利益累計額合計	13,481	14,582
新株予約権	135	72
少数株主持分	10,584	10,076
純資産合計	140,518	138,587
負債純資産合計	288,592	284,088

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第 1 四半期連結累計期間)

(単位 : 百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 6 月30日)
売上高	88,033	83,076
売上原価	45,784	41,651
売上総利益	42,248	41,425
販売費及び一般管理費	38,796	39,413
営業利益	3,451	2,011
営業外収益		
受取利息	132	98
受取配当金	13	14
投資有価証券売却益	4	-
その他	261	95
営業外収益合計	413	207
営業外費用		
支払利息	202	170
為替差損	1,244	313
その他	477	186
営業外費用合計	1,923	670
経常利益	1,941	1,548
税金等調整前四半期純利益	1,941	1,548
法人税等	167	779
少数株主損益調整前四半期純利益	2,108	769
少数株主損失 ()	330	199
四半期純利益	2,438	969

(四半期連結包括利益計算書)
(第 1 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 6 月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,108	769
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	138	28
繰延ヘッジ損益	16	11
為替換算調整勘定	4,029	1,306
最小年金負債調整額	11	4
その他の包括利益合計	4,140	1,318
四半期包括利益	2,032	548
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,230	50
少数株主に係る四半期包括利益	801	497

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	システム ソリューション	グローバル ソリューション	計		
売上高					
外部顧客への売上高	36,942	46,134	83,076	-	83,076
セグメント間の内部 売上高又は振替高	583	2,627	3,210	(3,210)	-
計	37,525	48,761	86,287	(3,210)	83,076
セグメント利益	431	1,580	2,011	-	2,011

(注) 1. セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額32億10百万円は、セグメント間取引消去であります。

(注) 2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

報告セグメントについては、前連結会計年度まで「システムソリューション事業」「ドキュメントソリューション事業」及び「海外POS & AIプリンタ事業」の区分によっておりましたが、海外事業の更なる効率化及び一層の拡大を目指した事業運営体制の変更に伴い、当第1四半期連結会計期間より「システムソリューション事業」及び「グローバルソリューション事業」の区分に変更いたしました。

「システムソリューション事業」は、国内市場向けPOSシステム、複合機、オートIDシステム及びそのソリューション関連商品の開発・製造・販売・保守サービス等を行っております。また「グローバルソリューション事業」は、海外市場向け複合機、POSシステム、オートIDシステム、プリンタ及びそのソリューション関連商品の開発・製造・販売・保守サービス等を行っております。

なお、変更後の区分により作成した前第1四半期連結累計期間の「報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」は以下のとおりであります。

前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	システム ソリューション	グローバル ソリューション	計		
売上高					
外部顧客への売上高	38,483	49,549	88,033	-	88,033
セグメント間の内部 売上高又は振替高	611	2,362	2,973	(2,973)	-
計	39,094	51,911	91,006	(2,973)	88,033
セグメント利益	1,444	2,006	3,451	-	3,451

(注) 1. セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額29億73百万円は、セグメント間取引消去であります。

(注) 2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

- (6) 重要な後発事象
該当事項はありません。